

令和 2 年度 行政評価「外部評価（政策評価）」

1. 第二次千曲市総合計画 前期基本計画「成果指標」

第二次千曲市総合計画「前期基本計画(H29～R3 年度)」では、まちづくりの達成状況を測る「ものさし」として、32 の達成方針(分野)ごとに「132 の成果指標」を設定しています。

毎年度の「政策評価」において、指標の達成状況を見ながら政策の展開状況を振り返り、「総合評価」としてしています。

「施策評価・総合評価」の結果等は、翌年度への改善に向けて取り組めるよう、実施計画や予算編成に反映し、「行政評価結果」としてまとめ公表します。

H29

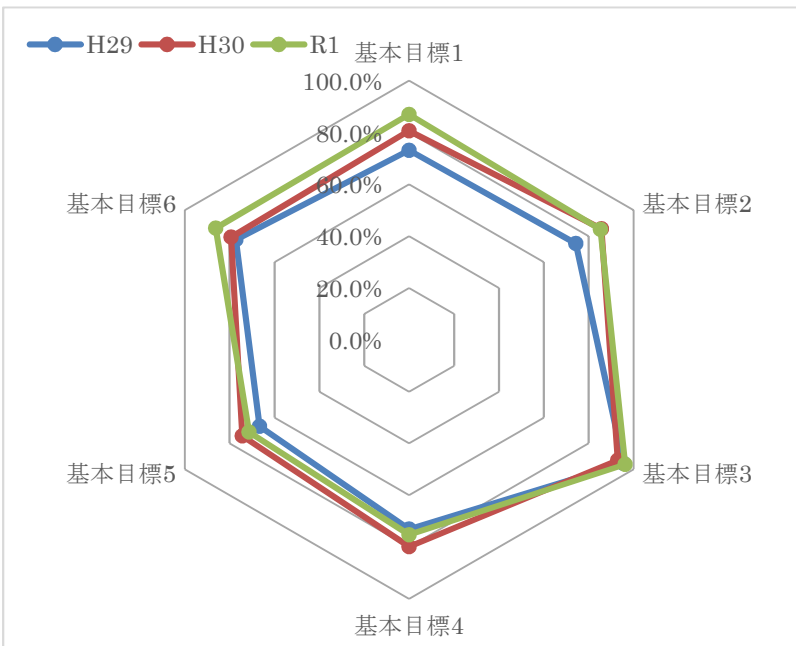
H30

R1

R2

R3

■ 基本目標 1～6 の平均達成率レーダーチャート（基本目標ごと）



| | 平均達成率 | | |
|-------|-------|-------|-------|
| | H29 | H30 | R1 |
| 基本目標1 | 73.1% | 80.6% | 86.9% |
| 基本目標2 | 74.3% | 85.6% | 85.2% |
| 基本目標3 | 95.5% | 92.9% | 96.2% |
| 基本目標4 | 73.1% | 79.8% | 75.2% |
| 基本目標5 | 66.7% | 74.3% | 71.3% |
| 基本目標6 | 77.2% | 79.3% | 86.2% |
| 平均 | 76.7% | 82.1% | 83.5% |

○基本目標 1 千曲の魅力で創生する賑わいと活力あるまち

- ・分野全体の達成率は年々上昇し約 8 割以上に増加している。成果指標 44 項目中、達成項目は平成 29 年度 10 項目から平成 30 年度 11 項目、令和元年度は 10 項目となっている。
- ・【産業連携】・【産業振興】・【雇用】の産業分野の達成率が増加している。達成方針 1～6 の全分野で達成率が 7 割を超えている。
- ・基本目標 1 の経済・雇用・観光分野は令和元年の「東日本台風災害」や「新型コロナウイルス感染症」により大きな影響を直接受けることから、今後の推移は予測不可能な状況である。

○基本目標 2 安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち

- ・分野全体の達成率は平成 30 年度に引き続き 8 割を超えている。成果指標 37 項目中、達成項目は平成 29 年度 4 項目から平成 30 年度 7 項目、令和元年度は 10 項目と増加している。
- ・【子育て】は、平成 29 年度は達成項目が 0 であったが、平成 30 年度 2 項目、令和元年度 3 項目と増加し達成率も年々増加しているが、達成項目が少ない（17 項目中 3 項目）。
- ・【教育】は 8 項目中、半分の 4 項目が達成している。

○基本目標 3 支え合い、だれもが健康で活躍するまち

- ・分野全体の達成率は平成 29 年度から継続して 9 割を超えている。達成方針 1～6 の全分野で達成率が 7 割を超えている。
- ・「地域福祉」「保健・医療」「生活支援」の達成率が高い。「障がい者福祉」では、「自立のための実習・訓練への参加者数」や「障がい者の雇用率」の実績が増加し、障がい者福祉への社会の意識が高まっている。

○基本目標 4 災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち

- ・分野全体の達成率は、平成 30 年度より僅かに下がっている。成果指標 16 項目中、達成項目は毎年同様の項目に限られ、3～4 項目となっている。
- ・「公園・緑地」「上下水道」「ごみ処理」「地球環境保全」とも 8 割以上の達成状況であるが、「安心・安全」の達成率は 5 割程度にある。地域自らが地区防災計画を策定する「地区防災計画」件数、及び「都市圏自治体との防災協定」件数が 0 であることから達成率を押し下げている。

○基本目標 5 輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち

- ・分野全体の達成率は約 7 割で、毎年、基本目標 6 つの中で最も低い達成率となっている。成果指標 11 項目中、達成項目は毎年同様の項目に限られ、2 項目となっている。
- ・「景観形成」の建造物修理・修景事業の件数は、年々増加し、達成率も上昇している。

○基本目標 6 協働で創る、市民主体の住みたい住みたいまち

- ・分野全体の達成率は年々上昇し、令和元年度は 8 割を超えている。
- ・【広域行政】の「連携事業数」は年々増加し、令和元年度に目標を達成した。
- ・「行政経営」「広域行政」「情報コミュニケーション」の達成率は上昇しているが、「市民協働・市民交流」は約 2 割と低い。「自立した協働事業の件数」は増加しているが、区・自治会の枠にとらわれない単位で「地域づくり計画」を策定・推進する取り組みが達成率を押し下げている。

■ 行政評価等外部委員会からの政策評価に対する意見等

【質 問】

- 第5章1「国・県・市指定文化財数」の目標値と実績値との差は何が要因で大きく違いが出ているのか。
→文化財指定にあたっては、専門の審議委員による文化財の調査を行う必要があり、この調査に時間を要することから、指定件数が目標値を下回っている。
- 第6章2「市の職員数」目標値と実績値の差は取り組みが遅れているのか、それとも他の要因があるのか。
→多様化する行政需要に対応するため一定程度の職員体制を維持する必要があり、目標値に対する取り組みが遅れている。

【基本目標毎に対する意見】

- 第2章「子育て」分野の100%達成項目が少ない印象です。達成率のみでの評価には限界があるものの、子育て世代への支援には一層の尽力を希望します。
- 第4章1「地区防災計画策定件数」0件、昨年の台風の災害時、避難所・災害の度合い等は地区によって異なることがはっきりしているので、早急に行政主導で策定を進める必要がある。

【政策全般に対する意見】

- 計画を作成する段階から、指標等の設定について市民・計画策定委員から意見を聴取する必要がある。
- 総合計画において、個別分野の進捗状況に差はあるものの、基本目標1から基本目標6までの全目標で7割以上の達成率となり、平成30年度より達成率・達成項目が上昇・増加していることから「比較的順調」であるといえる。
- 前年度に比べ、平均達成率の上昇度は鈍化しているものの、概ね堅調であると言える。今後、台風災害及び新型コロナの影響が顕著に現れる項目が出てくることを憂慮する。
- 指標の目標値の設定によって、達成率が低い項目がある。目標値の設定について、妥当性を議論する必要があるのではないかと。
- 達成状況を数値で表せない指標については、費用対効果・スピード感等の観点から、文章で進捗状況の評価が必要ではないかと。
- 指標によっては、予算上の制約や市の努力だけでなく、相手方の都合により達成状況が影響するものもあることから、一概に数値だけで評価できないものもある。

第二次千曲市総合計画

まちづくりの目標体系

【将来像】

【基本目標】

【達成方針】

科野しなのの国さらしな はにしな
 史都しとがにぎわう 信州の交流拠点 千曲

